

そして、今日もあなたは
新聞を受け取る。

新聞がポストに入る音がする。

時間は毎日だいたい同じ。

台風や大雪の日は、少し遅れることもある。

それでも、いつも音がする。

いつも届けてくれてありがとう。

配達員に感謝しながら、ポストから新聞を取り出す。

新聞は外の空気を吸っている。

夏はうるおいがあつて、冬は凍えるように冷たい。

部屋の空気になじんだ新聞を広げて朝食を食べる。

地元や世界のニュースをながめ、晶戸チームの勝敗に一喜一憂する。

そして、新聞をたたんで支度をする。

今日も、普通の毎日が普通に始まる。

※今回の広告は読者の岡本美津子さんから当社にいただいた投稿を元で作成しました。



新聞を配ることは、気を配ること。